

百人一首大会

図書館準備室において開催しました。生徒 3 名、教職員 9 名での大バトルとなりました。特に、生徒対決、一昨年チャンピオン（3 年生 入江君）と昨年チャンピオン（2 年生 石井さん）の一騎打ち対戦が見ものでした。チャンプ奪還と燃えた 3 年生でしたが勝利ならず、昨年に続き連敗、「リベンジならず」でした。



【対戦後、入江君の一言：来年OBとして参加し、必ずやリベンジを果たします。】

また、校長先生のご参加がありました。途中からということはありませんでしたが、暗記をされたお気に入りの札があるようで、スイスイと取っていかれました。取った札の厚みは相当なものになっていました。



【校長先生からの一言：古典に親しむという意味でも、もっとたくさんの生徒に参加してほしいと思いました。年に一回のチャンスですから。でも、楽しかったですね。皆さんすごい迫力でした。】

おかめはちもく

「傍目八目」とはよく言ったもので、自分たちの組は札をとってしまったけれど、まだの隣の組の札と一緒に探しては、あったあったとヒントを与えてくれる人もいました。お手付きや札の上で重なり合う手の激しい戦いは、大きな笑いを誘っていました。紳士淑女の集まりでしたから、お互い札を譲り合っていました。心のなかは・・・？



【毎回参加のかん奈先生の一言：日頃生徒と職員と一緒に遊ぶ機会は、なかなかありません。特に百人一首大会は季節感を感じさせてくれるし、菊地さんお手製のおまけ付きで、楽しいイベントです。】

詠み手の、宮吉先生、ご苦労様でした。

皆さんの中には、百人一首大会が苦手的人也いました。しかし、お気に入りの札はいくつかあって、どこにあるのかチェック済みで、満を持して読まれるのを待っています。一番多い「ひ」から始まる取り札は大変で、お手付きが続出しました。

読まれた札を抑える速さはすごいもので、参加した人でなければわかりません。来年のことを言うと鬼が笑いますが、次回は平成28年1月22日(金)を予定しています。OBの参加をはじめ、たくさんのご参加を、お待ちしております。